



陽子の道政だより

50

2011年 新緑号

発行 平出陽子後援会

発行責任者 上田 小八重

連絡先/函館市中島町2-8
北教組函館支部内
(☎33-5080)

▶ 四月に行われた道議選街頭演説



▲ 遊説行動をしながら朝のラジオ体操に参加
(五稜郭公園)



▲ 東日本大震災後の観光客来函調査 (函館朝市)

東日本大震災を教訓に 「防災計画」の見直しを!

— 津波に対応できる
避難訓練の実施 —

北海道議会議員 **平出陽子**

あの三月十一日に発生した千年に一度と言われる東日本大震災から三ヶ月が経とうとしておりますが、一日も早い復旧・復興をお祈りします。全国民が応援しております。今、一番心配な福島第一原発事故は経過説明が二転三転し、政治・企業不信の極みです。福島だけの問題ではなく、地球規模でのエネルギー政策に関わってきます。脱原発で新エネルギーに早急に転換しなければなりません。私達の生活そのものの見直しを迫られていることです。生活の向上のの名のもと安易に便利な生活を求めてきた私達にも責任があります。国も道も防災計画の見直しを唱えておりますが、具体的でより住民に近い防災計画は市町村が策定しなければなりません。函館近郊の自治体は青森の大間原発が最大の関心事です。同じような事故が起きる前に稼働を止めなければ、孫子の代まで禍根を残します。津波を想定した避難訓練を町会・学校・会社単位で実施するよう選挙中も訴えてきました。震災後各学校ではグラウンドに避難した後に、更にどこに避難するか、の想定や実地訓練をしているそうです。自分の安全は自分で守る考え方を徹底することが重要です。六期目を当選させていただき、農政委員会に所属決定致しました。食の安全・安心や今回国が加盟見送りを決定したTPP問題が課題となる委員会です。皆様の御意見をいただきながら間違いない選択をしていきたいと思っております。更なる御支援をお願いします。

東日本大震災の二次被害調査

― 函館朝市の風評被害 ―

〓 函館朝市の観光客入り込み数は激減したそうですね

△ 平出▽ 地震・津波・福島原発事故の影響は甚大です。初めは津波被害の電気系統や商品の被害対策だけを考えていたのですが、やっと再開してみると観光客の皆さんが皆無の日が続きました。朝市は特に外国の観光客の皆さんで成り立っている所ですので、福島原発の影響で函館は危険地区の風評を一番心配していたのです。それが現実となり四月の国外客はゼロに等しく国内客も自粛の方向で、函館朝市は開店休業状態でした。

〓 平出さんほどのような対策をとったのですか

△ 平出▽ 選挙期間中でしたので市民の皆さんに「買物に行ってください！」と訴え続けました。選挙後は私も買物ツアーを企画実施しました。五月末まで二十七回朝市訪問調査したことになります。朝市は函館の顔ですから市民が利用して盛り立てることも重要と思っています。



▲ 渡島蔬菜農業協同組合



▲ えぎに市場



▲ 病院労組春闘臨時大会・懇親会



▲ 港町地区個人懇談会

**選挙戦は
北海道の明日を訴え
がんばりました**
(朝市被害調査 27回)
(茅葺方面被害調査 6回)



▲ 事務所前出発



ミニ遊説行動

遊説時間自粛のため
ミニ街宣を多くしました



函館駅前遊説行動



▲ 道南ⅠⅡⅢ会 新年交礼会

函館朝市の皆さんと



▲ 函退教新春懇談会

